第104回　北海道医学大会
プログラム・抄録

Program of the 104th Hokkaido Medical Congress

救 急 医 学 分 科 会

（第48回北海道救急医学会学術集会）

日　時：令和６年10月26日(土)　９：20～18：00
会　場：旭川市大雪クリスタルホール
　　旭川市神楽３条７丁目
　　TEL（0166）69-2000
会　長：札幌医科大学医学部救急医学講座　教授　成松　英智

開催期間

総　会		令和６年10月５日(土)
分科会	自	令和６年８月31日(土)
	至	令和６年11月16日(土)
会　頭		畠　山　鎮　次

主　催　北海道大学医学研究院
　　旭　川　医　科　大　学
　　札　幌　医　科　大　学
　　北　海　道　医　師　会

救 急 医 学 分 科 会

（第48回北海道救急医学会学術集会）

日　時：令和６年10月26日㈯　９：20～18：00
会　場：旭川市大雪クリスタルホール
　　旭川市神楽３条７丁目
　　TEL（0166）69-2000
会　長：札幌医科大学医学部救急医学講座　教授　成松　英智

当番幹事

旭川医科大学救急医学講座		教授	岡田　基
旭川医科大学病院	救命救急センター	看護師長	眞鍋万里子
	薬剤部	部長	田﨑　嘉一
	臨床工学技術部	主任	南谷　克明
	放射線部	部門長	林　秀樹
旭川市消防本部		消防長	河端　勝彦

特別講演・救急科領域講習
［DICの過去を学び、現在を知り、未来を展望する］
北海道大学大学院医学研究院侵襲制御医学分野
救急医学教室　教授　和田　剛志

教育講演・専門医共通講習
［「医療安全」の考え方・取り組み方］
旭川医科大学病院医療安全管理部
副部長／教授（病院）　岩田　達也

１．講演時間（一般演題）１題　７分、討論　２分
２．発表形式　PCプレゼンテーション

第１会場（１階・大会議室）

幹事挨拶（９：20～９：25）

シンポジウム１　救急隊教育（９：30～10：20）　座長　文屋　尚史（札幌医科大学医学部救急医学講座）
長坂　智幸（旭川市消防本部南消防署）

S-１．旭川市消防本部における救急救命士のOJT研修について
○堀川　雅史（旭川市消防本部北消防署）

S-２．当院における救急救命士病院実習の取り組みについて
○大武　志帆[1]，藤田　智[1]，栗澤　圭輔[1]，和知修太朗[1]，砂田　大貴[1]，津川久仁江[2]，高橋　誠生[3]（名寄市立総合病院救命救急センター[1]，名寄市立総合病院看護部[2]，上川北部消防事務組合[3]）

S-３．死亡時画像診断（Ai）上の胃内ガス像による病院前バッグ・バルブ・マスク（BVM）換気の評価
○岡本　博之，奈良　理（手稲渓仁会病院救命救急センター）

S-４．院外心停止の成績改善につながる3つのトピックス
○文屋　尚史，葛西　毅彦，沢本　圭悟，成松　英智（札幌医科大学医学部救急医学講座）

シンポジウム２　救急救命士のこれから（10：40～11：40）
座長　中川　貴仁（弘前医療福祉大学救急救命学科）
大滝　達也（上川北部消防事務組合下川消防署）

S-５．救急救命士の働き方～消防と医療機関の違い～
○坂　佳代子[1]，田畑　慶多[1]，青木　達也[1]，中野　匠[1]，武田　悠太[1]，井沼　浩政[2]（北海道大学病院救命救急センター[1]，札幌東徳洲会病院救急センター[2]）

S-６．女性救急救命士の現状について
○小枝由希子（遠軽地区広域組合消防本部）

S-７．特定非営利活動法人道東救急医療研究会の立ち上げとその取り組みについて
○林　康弘（根室北部消防事務組合別海消防署）

S-８．北海道防災航空隊所属の救急救命士によって特定行為を行った心肺停止傷病者救助2事案
○谷口　圭祐（北海道防災航空室）

S-９．旭川市消防本部における救急救命士の現状と課題～専従救急隊指導的救急救命士の立場から～
○橋本　祐一（旭川市消防本部）

シンポジウム３　令和６年能登半島地震（13：05～14：15）
座長　水野　浩利（札幌医科大学医学部救急医学講座）
加藤　航平（帯広厚生病院救急科）

S-10．令和6年能登半島地震におけるNHO医療班としての支援活動
○硲　光司，七戸　康夫（北海道医療センター救急科）

S-11．院内救急救命士としてのJMAT派遣報告
○川端　崇太，藤川丈一郎，柳原　祐太，佐々木優斗，熊谷　将俊，岩尾　祐弥，田口　大，林　浩三，石田　浩之，曳田　彩子（勤医協中央病院救急センター）

S-12．能登半島地震における避難所での経験～TKB問題を考えて～
○山尾　学（旭川医科大学病院手術部）

S-13．令和6年能登半島地震における当院DMATの活動
○武山　佳洋[1]，坂脇　園子[1]，坂脇　英志[1]，河瀬　亨哉[1]，井下田　恵[1]，池田　直基[1]，櫻田　穣[2]（市立函館病院救命救急センター[1]，市立函館病院薬剤部[2]）

S-14．珠洲市保健医療福祉調整本部DMAT活動指揮報告～引継ぎの効率化について～
○橋浦　大希，表　俊輔，笠谷亜沙子，秋田　康志，江浜　由松（函館五稜郭病院）

S-15. 能登半島地震における北海道DMAT調整本部の派遣調整と支援

○水野　浩利[1,2]，沢本　圭悟[1,2]，葛西　毅彦[1]，郭　　光徳[1]，山岡　　歩[3]，成松　英智[1,2]（札幌医科大学医学部救急医学講座[1]，札幌医科大学北海道病院前・航空・災害医学講座[2]，札幌医科大学附属病院脳神経外科[3]）

シンポジウム 4　看護師（14：25～15：15）　　座長　練合　若菜（旭川医科大学病院救命救急センター）
石井　優子（札幌医科大学附属病院高度救命救急センターEICU病棟）

S-16. 当院における医師の働き方改革に伴う看護師としての今後の課題

○佐藤　　希（旭川医科大学病院救命救急センター）

S-17. タスク・シフト/シェア推進の取り組みと課題

○佐藤　亜紀（市立札幌病院看護部看護教育担当課）

S-18. 救命救急センターにおける看護師特定行為研修修了者の活用

○大塚　　操（旭川赤十字病院看護部HCU・救急外来）

S-19. 院内救急救命士の採用によるタスクシフトの取り組みと課題

○坂　佳代子[1]，田畑　慶多[1]，青木　達哉[1]，中野　　匠[1]，武田　悠太[1]，太田　　稔[1]，岩佐　幸一[2]，方波見謙一[2]，高氏　修平[2]，早川　峰司[2]（北海道大学病院医療技術部臨床工学/救急救命部門[1]，北海道大学病院救急科[2]）

シンポジウム 5　院内救急救命士（15：25～16：15）　座長　髙田　茂伸（旭川市消防本部上川消防署）
平山　　傑（札幌徳洲会病院救急科）

S-20. 大学病院における院内救急救命士の取り組み

○田畑　慶多[1]，坂　佳代子[1]，青木　達哉[1]，中野　　匠[1]，武田　悠太[1]，太田　　稔[1]，岩佐　幸一[2]，方波見謙一[2]，高氏　修平[2]，早川　峰司[2]（北海道大学病院医療技術部臨床工学/救急救命部門[1]，北海道大学病院救急科[2]）

S-21. 院内救急救命士による迎え搬送の現状と課題

○岩尾　祐弥，川端　崇太，柳原　祐太，藤川丈一郎，佐々木優斗，熊谷　将俊，林　　浩三，石田　浩之，曳田　彩子，田口　　大（勤医協中央病院救急センター）

S-22. 救急救命士科発足の歩みと取り組み

○岩崎　友洋，加藤　　敦，山本　尊之，上村　俊太，羽賀　龍平，中村　遥大，新岡　敬太，石山　和樹，牧野　藍斗，鎌田　悠雅，高橋　飛翔，加賀谷結輝，笹盛　幹文（札幌心臓血管クリニック）

S-23. 上位頸髄損傷患者の航空機による緊急医療搬送に院内救命士が同乗した1例

○田中　郁也[1]，坂脇　園子[1]，萩原　詢哉[2]，佐藤　徳香[1]，坂見　匡則[3]，坂脇　英志[1]，武山　佳洋[1]（市立函館病院救命救急センター[1]，札幌医科大学医学部救急医学講座[2]，函館市消防本部救急課[3]）

シンポジウム 6　病院前救急（情報共有）（16：25～17：35）
座長　水越　敦之（富良野広域連合富良野消防署占冠支署）
田口　　大（勤医協中央病院救急センター）

S-24. 救急隊と医療機関における映像共有を活用した地域医療充実、救命率向上について

○高畑　　修（士別地方消防事務組合）

S-25. 病院前12誘導心電図の測定を経験して

○中島　　惇，山形　裕希（増毛町消防本部）

S-26. 遠隔医療支援システム「Caseline」の導入について

○下田　勇樹，根岸　紘人，菅原　和敏（士別地方消防事務組合）

S-27. L&G症例から考察する119番映像通報システムの有用性について
○佐々木康希（とかち広域消防局池田消防署）

S-28. 12誘導心電図記録伝送に係る利点と課題
○窪田　充徳（南宗谷消防組合消防本部）

S-29. 加工機械に上腕が巻き込まれ対応に難渋したデグロービング損傷の1例
○田口　　大，林　　浩三，石田　浩之，曳田　彩子（勤医協中央病院救急科）

第２会場（２階・レセプションホール）

一般演題１　症例報告（９：40～10：35）　　座長　橋詰　勇祐（旭川赤十字病院救急科）

１．心肺停止に至ったカフェイン中毒に対してVA-ECMOとCHDFを施行し神経学的予後良好な転帰を得た1例
○蠣崎夕利佳，　土田　拓見，　棟方　裕貴，　福原　侑真，　村下　百音，　田中　祥平，　高橋　正樹，　水柿明日美，　高氏　修平，　早水真理子，　本間　慶憲，　斉藤　智誉，　吉田　知由，　方波見謙一，　前川　邦彦，早川　峰司，和田　剛志（北海道大学病院救急科）

２．人工膝関節置換術後溶連菌感染による敗血症性ショックに対してV-AV ECMOで救命した1例
○吉山　暉人[1]，和田健志郎[1]，永井　久子[1]，吉田　一英[1]，加藤　史人[1]，上徳　善太[2]，加藤　航平[1]（帯広厚生病院救急科[1]，帯広厚生病院整形外科[2]）

３．経口エステラジオール製剤により発症した高トリグリセリド血症を伴った重症急性膵炎
○本間　慶憲[1]，高橋　直希[1,2]，水柿明日実[1]，早水真理子[1]，吉田　知由[1]，方波見謙一[1]，前川　邦彦[1]，早川　峰司[1]，和田　剛志[1]（北海道大学病院救急科[1]，市立札幌病院救命救急センター[2]）

４．超難治性てんかん重積に対してケタミンを使用した1例
○佐藤　研斗，　安藤　　玲，　松村　美和，　山下　雅廣，　千葉　　凌，　滝口　僚也，　難波　　亮，　佐藤　寛起，岩原　素子，丹保亜希仁，岡田　　基（旭川医科大学病院救命救急センター）

５．子癇重積発作で入院後に抗リン脂質抗体症候群/全身性エリテマトーデス/シェーグレン症候群の診断に至った1例
○棟方　裕貴，　前川　邦彦，　福原　侑真，　蠣崎夕利佳，　村下　百音，　田中　祥平，　高橋　正樹，　土田　拓見，　水柿明日美，　高氏　修平，　早水真理子，　本間　慶憲，　斉藤　智誉，　吉田　知由，　方波見謙一，早川　峰司，和田　剛志（北海道大学病院救急科）

６．肺炎球菌性髄膜炎にTMAを合併した1例
○松村　美和[1]，丹保亜希仁[1]，岩原　素子[1]，津田　淳希[2]，佐藤　雅之[2]，石羽澤映美[2]，長森　恒久[2]，岡田　　基[1]（旭川医科大学病院救急科[1]，旭川医科大学病院小児科[2]）

教育講演・専門医共通講習（10：50～11：50）　　座長　岡田　　基（旭川医科大学救急医学講座）
[「医療安全」の考え方・取り組み方]
演者　旭川医科大学病院医療安全管理部　副部長／教授（病院）　岩田　達也

一般演題２　病院前救急（13：05～13：55）　　座長　渡辺　一弘（大雪消防組合消防本部警防課）

７．看護師同乗研修中に発生したDrカー出動事案（異物CPA）について
○西山　佳吾（上川北部消防事務組合名寄消防署）

８．札幌消防人を知らざるを患う～在宅医療研修の取り組み～
○柴田　篤志，湯浅　良介，長山英太郎（札幌市消防局警防部救急課）

９．糖尿病患者に対する高血糖状態及び糖尿病ケトアシドーシスの予測と対応について
○樋渡　巧大（旭川市消防本部南消防署）

10．１型糖尿病罹患者が糖尿病ケトアシドーシスと消化管出血を合併した症例について
○沖　　孝司，柳谷　将人，池下建太朗（函館市消防本部）

11. プレホスピタルにおける「現場観察」と「情報共有」の重要性について

○池田　大起，小林　浩之，宇美　康宏，笹谷　龍馬，小池　慶之，片山　創太（函館市消防本部）

12. Power-PRO 電動ストレッチャー（スノーランナー）は、救急隊員の負担軽減となる

○村上　貴広，葛西　浩規，佐藤　和紀，寺本　　亮，米木　和幸（稚内地区消防事務組合消防署）

一般演題 3　研修医セッション（14：05～15：00）　座長　砂田　大貴（名寄市立総合病院救命救急センター）

13. 敗血症性ショックに併発し診断に苦慮した悪性症候群の1例

○三十尾咲貴[1]，國部竣太郎[2]，竹内　大輔[2]，青柳　有沙[2]，坂脇　英志[2]，坂脇　園子[2]，武山　佳洋[2]（市立函館病院初期臨床研修医[1]，市立函館病院救命救急センター[2]）

14. ナファモスタットが主な誘因と思われる透析関連アレルギーを来した1例

○小泉　明子[1]，中嶋　駿介[2]，佐藤　研斗[4]，山下　雅廣[4]，松村　美和[4]，千葉　　凌[4]，滝口　僚也[4]，難波　　亮[4]，佐藤　寛起[4]，岩原　素子[3]，川口　　哲[2]，丹保亜希仁[2]，小北　直宏[3]，岡田　　基[2]（旭川医科大学病院卒後臨床研修センター[1]，旭川医科大学救急医学講座[2]，旭川医科大学病院集中治療部[3]，旭川医科大学病院救急科[4]）

15. 血液浄化療法を導入したが、救命し得なかったドクツルタケ中毒の1例

○雑賀　　將，高尾　　魁，岩元　悠輔，坂脇　英志，坂脇　園子，武山　佳洋（市立函館病院救命救急センター）

16. 消化管出血による難治性出血性ショックに対してREBOAを使用した2例

○馬場　佑介[1]，善積　春奈[2]，佐藤　寛起[3]，丹保亜希仁[3]，小北　直宏[4]，岡田　　基[3]（旭川赤十字病院教育研修センター[1]，旭川医科大学病院初期臨床研修センター[2]，旭川医科大学病院救急科[3]，旭川医科大学病院集中治療部[4]）

17. 当院におけるアセトアミノフェン中毒診療は妥当か否か？

○山地　正人，田口　　大，石田　浩之，林　　浩三，曳田　彩子（勤医協中央病院救急科）

18. Na値190mEq/Lの高ナトリウム血症の1救命例

○伊藤　史苑，田口　　大，石田　浩之，林　　浩三，曳田　彩子（勤医協中央病院救急科）

特別講演・救急科領域講習（15：15～16：15）　座長　岡田　　基（旭川医科大学救急医学講座）

［DICの過去を学び、現在を知り、未来を展望する］

演者　北海道大学大学院医学研究院侵襲制御医学分野　救急医学教室　教授　和田　剛志

一般演題 4　混合セッション（16：20～17：05）　座長　田中　義範（市立旭川病院臨床器材科臨床工学室）

19. 当院におけるICUダイアリー作成の取り組み

○和知修太朗[1]，田利　優來[2]，砂田　大貴[1]，栗澤　圭輔[1]，大武　志保[1]，藤田　　智[1]，岡田　　基[3]（名寄市立総合病院救急科[1]，名寄市立総合病院集中治療室[2]，旭川医科大学救急医学講座[3]）

20. COVID-19患者における臨床的高PEEP下の含気良好な肺領域とコンプライアンスとの相関

○小倉　圭史[1]，中山　龍一[2]，文屋　尚史[2]（札幌医科大学附属病院[1]，札幌医科大学医学部救急医学講座[2]）

21. 中規模病院における少人数制BLS研修の導入効果：フリーランス臨床工学技士による支援

○陶山　真一（森山病院検査部臨床工学）

22. ICLSコース未開催の中規模病院における開催実現への道のり

○伊藤　香里[1]，陶山　真一[2]，須藤　花凜[1]，丹保亜希仁[3]（森山病院看護部[1]，森山病院検査部臨床工学[2]，旭川医科大学救急医学講座[3]）

23. ICLS指導者養成への教習ビデオ導入効果

○小林　　巌（旭川赤十字病院救急科）

一般演題５　その他（17：10～17：50）　　座長　丹保亜希仁（旭川医科大学救急医学講座）

24. 生成AIが生み出す新しい働き方。スマホで完結、救急外来での音声入力と画像認識OCR

○平山　　傑（札幌徳洲会病院救急科）

25. メディカルウイングによる小児バックトランスファーの事業化について

○奈良　　理[1,3]，岡本　博之[1,3]，水野　浩利[2,3]，上村　修二[2,3]，成松　英智[2,3]，目黒　順一[3]，浅井　康文[3]（手稲渓仁会病院救命救急センター[1]，札幌医科大学医学部救急医学講座[2]，北海道航空医療ネットワーク研究会[3]）

26.「救急医をめざす君へ」と「北海道救急医学会」webサイトの認知度調査

○上村　修二[1,2]（札幌医科大学医学部救急医学講座[1]，日本救急医学会救急科プログラム参加推進委員会[2]）

27. 北海道でのICLSコース運営に関する情報提供

○丹保亜希仁[1,2]（旭川医科大学救急医学講座[1]，日本救急医学会ICLSコース北海道地区統括業務担当[2]）

第３会場（１階・第２・３会議室）

一般演題６　看護師①（９：25～10：10）　　座長　津川久仁江（名寄市立総合病院救命救急センター）

28. 知的障害のある外国人患者に対する母国への転院搬送までの関わり

○小笹　夕子，渡邊　華代，木村健太郎，佐藤　　希，谷口　美咲（旭川医科大学病院看護部救命救急センター病棟）

29. コロナ禍後の救急車同乗研修再開から見えた意識変化と課題

○高橋　大介，畑山　真幸，佐藤　未記，松岡　香菜，田口　　大（勤医協中央病院救急センター）

30. ECMO導入に伴う看護師の思いと変化

○内藤　　遼，中田　麻美，新宅　珠奈，村上　佳瑚，岩佐　幸一（北海道大学病院救命救急ナースセンター）

31. ドクターカーを使用したシミュレーション教育の効果

○森脇　美香，広木　孝一，佐藤　　希，練合　若菜，丹保亜希仁（旭川医科大学病院救急外来）

32. 超音波を用いた末梢静脈カテーテル留置実践看護師育成プログラムの構築と人材育成

○赤堀　貴政[1]，大塚　　操[1]，川田　大輔[2]（旭川赤十字病院看護部HCU･救急外来[1]，旭川赤十字病院麻酔科[2]）

一般演題７　看護師②（10：15～11：00）　　座長　高橋　眞紀（手稲渓仁会病院救命救急センター）

33. 当院における救急室担当看護師育成と質向上のための取り組み～救急室担当看護師を対象とした評価表の効果と今後の展望～

○小原　　環[1]，児玉　善之[2]，廣田さゆり[1]，杉目　健司[3]（斗南病院看護部ICU[1]，斗南病院救急科[2]，斗南病院医事課[3]）

34. 救命救急センターに所属する看護師のせん妄の判断と対応に関する困難感

○森田　佳一，内田　祐介，大橋　千尋，眞鍋万里子（旭川医科大学病院看護部救命救急センター病棟）

35. 緊急ACPを必要とする患者家族に関わる看護師のロールプレイ実施後の気持ちの変化～バイタルトーク・ロールプレイングを導入して～

○齋藤　吾郎，中山　瑛里，佐藤　　靖，丹代　麻奈，滝澤　葉夏，岩本　満美（北海道大学病院2-2ナースステーション）

36. 当院における院内救急コール（ブルーコード）の傾向から見る課題と展望～過去6年間のデータの分析から～

○小原　　環（斗南病院看護部ICU）

37. 衝撃的な体験をした救急看護師の職務継続要因

○伊藤さくら[1]，牧野　夏子[2]（札幌医科大学附属病院看護部[1]，札幌市立大学看護学部[2]）

一般演題 8　看護師③（11：05～11：50）　　座長　佐藤　　希（旭川医科大学病院救命救急センター）

38. 熱傷急性期において看護師が実施する熱傷創処置前後の看護に関する実態調査

○藤川　千穂[1]，村中　沙織[1]，牧野　夏子[2]（札幌医科大学附属病院看護部EICU病棟[1]，札幌市立大学看護学部[2]）

39. A病院救命救急センターにおける人工呼吸器関連肺炎の現状

○伊原　利彦，源本　尚美，齋　　直美（市立札幌病院救命救急センター）

40. A病院高度救命救急センターEICU病棟における歯科口腔外科連携の取り組み

○柏崎　　彩[1]，船水　良太[1]，大橋　伸英[2]，村中　沙織[1]，真野　敏夫[1]（札幌医科大学附属病院高度救命救急センターEICU病棟[1]，札幌医科大学医学部口腔外科学講座[2]）

41. HCUの注射・点滴に関する事故防止対策実施後の課題

○浮田あかり，吉田　美歩，木村　真弓，太田　文子，大塚　　操（旭川赤十字病院看護部HCU･救急病棟）

42. 当院におけるクリティカルケアパッケージ見学研修の取り組み

○石井　優子[1]，村中　沙織[1]，船水　良太[1]，中川　雄樹[2]，北川美穂子[3]，真野　敏夫[1]（札幌医科大学附属病院高度救命救急センターEICU病棟[1]，札幌医科大学附属病院高度救命救急センターHCU病棟[2]，札幌医科大学附属病院看護部[3]）

一般演題 9　外傷（13：05～14：05）　　座長　野原　恵一（士別地方消防事務組合消防署幌加内支署）
土田　拓見（北海道大学病院救急科）

43. 骨盤骨折疑い傷病者を腹臥位で搬送した症例

○長谷川祐一（深川地区消防組合深川消防署沼田支署）

44. トラクターの下敷きによるコンパートメント症候群について

○松岡　健太，清水　計行，柴田　和宏（深川地区消防組合深川消防署）

45. 飲酒後の転落外傷により、四肢麻痺及びショックバイタルが伴った症例

○齊藤　恵杜，笹村　牧人（旭川市消防本部南消防署）

46. 頚部外傷により呼吸困難を生じ気管挿管を必要とした1例

○吉田　一英，加藤　史人，永井　久子，吉山　暉人，和田健志郎，加藤　航平（帯広厚生病院救急科）

47. クマ咬傷による気管損傷の1例

○小林　郁矢，　相坂和貴子，　疋田宗一郎，　岩元　悠輔，　大泉　里奈，　文屋　尚史，　沢本　圭悟，成松　英智（札幌医科大学医学部救急医学講座）

48. 長距離搬送を要する重症肝損傷症例に対するREBOAの使用経験

○佐藤　寛起[1]，丹保亜希仁[1]，小北　直宏[2]，岡田　　基[1]（旭川医科大学病院救急科[1]，旭川医科大学病院集中治療部[2]）

49. 肋骨髄内釘Matrix Ribスプリントを用いた肋骨骨折に対する髄内固定

○三品泰二郎，三品　壽雄（札幌孝仁会記念病院呼吸器外科）

一般演題10　病院前周産期救急（14：15～15：00）　座長　大滝　達也（上川北部消防事務組合下川消防署）
助言者　丹保亜希仁（旭川医科大学救急医学講座）

50. 病院前周産期救急事案への分娩介助実習の取り組み

○村中　紀充，鍬形　玲介（日高中部消防組合）

51. 周産期救急搬送（安心出産サポート119）について

○北上　健幸，吉崎　智久，斉藤　昂亮，伊藤　拓輝（北留萌消防組合消防本部）

52. 北海道メディカルラリーから見えた病院前周産期救急の課題

○大滝　達也[1]，西山　浩平[2]，片山　恵理[3]，高嶋　弘継[4]，河崎　和子[5]，丹保亜希仁[6]（上川北部消防事務組合下川消防署[1]，とかち広域消防事務組合[2]，旭川医科大学病院救命救急センター[3]，遠軽地区広域組合消防本部[4]，札幌保健医療大学[5]，旭川医科大学救急医学講座[6]）

53. 自宅分娩事案の対応について

○佐々木　拓（旭川市消防本部南消防署）

54. 未受診妊婦に対する的確な情報聴取と観察について

○泉田　拓哉[1]，野上　慈生[1]，固本　龍二[1]，田鎖　孝幸[1]，小島　久欣[1]，金井　麻子[2]（旭川市消防本部南消防署[1]，旭川医科大学病院周産母子センター[2]）

薬剤師部会ミニレクチャー（16：20～17：20）　　座長　山崎　晃憲（手稲渓仁会病院薬剤部）

［救急医の働き方に向けた「救急外来における薬剤師業務の進め方」について］

演者　札幌東徳洲会病院薬剤部副主任　齋藤　靖弘